



週報

入間ロータリークラブ

2022-2023 RI 会長:ジェニファー・ジョーンズ RI2570 地区ガバナー:村田貴紀 会長:豊田義継 幹事:木下登

11号 3270回例会 2023年 2月16日(木)

入間南RCとの合同例会開催

☆会場丸広・さくら草ホール

☆点鐘:午後13時~14時30分

<お客様>

日本女子プロゴルフ協会 小林 浩美 様
 飯能ロータリークラブ 前島 宏之 様
 飯能ロータリークラブ 中川 律子 様

❀ 会長挨拶 ❀ 豊田義継会長

今日はとてもうれしい日となりました。それは、南ロータリーさんとの合同例会には、日本女子プロゴルフ協会の会長、小林浩美さんを卓話の講師としてお迎えしたいと考えておりましたので、それが実現出来たことです。実は、昨年10月の三菱電機レディースのプロアマ戦で3度目のご一緒をさせて頂いた折、ロータリークラブの例会に講師としてお願い出来ませんか?と伺いました。すると、少し間を置いて、いいわよ!と返事をして下さいました。但し、出来れば、シーズンオフの2月頃がいいんだけど...とのお話でした。更にあつかましく、予算がないので、交通費を含めてこの位でお願い出来ませんか?と不安を抱えて申し上げると、またまたいいわよ!と快諾して下さいました。

そして、頂いた講師料は、社会福祉関係の団体に寄附しておりますからと、おっしゃいました。小林会長の特段のお計らいにより破格の値段で、講演をしていただく器量の大きさや、会長の社会奉仕に対する考え方は、ロータリーに共通する所があると感じ、親しみを覚えると同時に敬意を表したいと思います。

その後、女子プロゴルフ協会事務局との調整をしながら、本日を迎えました。例会後、小林会長のサイン入りのグッズのオークションを行ないます。そして、その売上げは、社会福祉協議会に2クラブで寄附を致します。今日は、小林会長のお話がメインでありますので、会長の時間はこれで終わります。



委員長報告

青少年奉仕委員会

田中快枝委員長

入間クラブでは毎月フードバンクに商品をお届けしております。先月伺った際に毎月ミルク代に2万円かかるとお聞きしました。今回からミルク募金箱を始めました。今回は南クラブの方もできましたら小銭でよろしいのでご協力よろしくお願ひいたします。



地区ロータリー財団委員会 細淵克則委員長

ロータリー財団奨学生の佐藤哲郎君からメールがありましたので報告いたします。



「3年がかりとなってしまいましたがロータリーの皆様に叱咤激励いただいたお陰で、第1志望であった米国エモリー大学公衆衛生大学院 Global Health 専攻に合格することができました！ やっと人生の次のステージへのスタートラインに立てただけなので、無事に卒業できるよう引き続き精進します。是非直接お礼も兼ねてご報告させていただければと思います」

尚、奨学資金は3万\$でロータリー財団から提供されます。

<出席報告>

後藤健委員

会員数	出席数	出席率	前回修正率
37名	18名	51.0%	-----

事前欠席連絡 19名

<ニコニコBOX>

晝間和弘会員

- 小林浩美様ようこそ合同例会に入間RC入間南RCへ、お待ちしております。「豊田義継君、木下登君、金井祐一君、馬路宏樹君、晝間和弘君、繁田光君、一柳達朗君、後藤健君」
- 久々の合同例会楽しみにしています。「山岸義弘君」
- 小林様本日の卓話宜しくお願ひします。ミルク募金箱を事務局の所に置きましたのでご協力お願ひいたします。

「田中快枝君」

本日¥14,000 累計¥419,000

■回覧、配布物

- ① 若手会員トークセッション参加募集
- ② 2024-25 年度ガバナー候補者の公表
2025-26 年度ガバナー候補者推薦依頼
- ③ 令和4年度「入間さとの日」企画ご案内
- ④ 国際交流 NEWS No. 123
- ⑤ ハイライトよねやま Vol. 275
- ⑥ 第21回ロータリー全国囲碁大会ご案内
- ⑦ 他クラブ例会変更お知らせ
- ⑧ 入間RC週報10号



<ご紹介・豊田義継会長>

1981年県立磐城女子高校卒業後ゴルフをはじめ、3年後の1984年トップ合格でプロ入りを果たされます。初優勝を挙げ89年に年間6勝をマーク賞金ランキング2位に入ると次の年から米国を主戦場として米ツアー4勝、欧州ツアー1勝、日本ツアー10勝合計15勝を挙げられる。日米欧ツアーで優勝を挙げた選手では樋口プロ、岡本プロに次ぐ日本人3人目となります。現役引退後2008年に日本女子プロゴルフ協会の理事に就任し、2011年より会長に就任され現在に至っておられます。

私は3回小林会長とプロアマ戦で一緒にさせて頂いておりますが、本気を出された時のアプローチの技、アイアン、パター技術はこれが世界に通用する技術なのだと思心させられることばかりです。大変面白いキャラでありますので今日は楽しいお話を聞けるのではと思います。よろしくお願ひいたします。

■■■■講師卓話■■■■

《JLPGAトーナメント

その魅力と選手の強さ〜》

日本女子プロゴルフ協会 小林 浩美 様

本日はお招きいただきまして、誠にありがとうございます。日本女子プロゴルフ協会は、今年創立56年目を迎えました。現在の会員数は1,296名となり、たくさんの会員が全国各地でトーナメントやレッスン活動などで活躍しています。



JLPGA トーナメントでは、力のある新人が年々増え、若手からベテランまで多くの選手が国内外で大活躍して、大会スポンサー様やファンの方々から大きな応援をいただいています。そのなかで、本日は、現在の女子プロゴルフツアーの魅力と選手たちはなぜ強くなったのか?について、お話を話させていただきます。

選手が強くなった要因は大きく3つあると考えます。

- ①選手自身の目標の高さ。インターネット社会になって、国内のみならず世界へ視線が上がって、世界大会やトッププロのプレーやスイングを目指して頑張っている。
- ②指導者の多様な教え方、各地域でのジュニア育成や大会の取り組み、トップアマ育成 JGA ナショナルチームの取り組み。
- ③協会のさまざまな「ツアー強化」策。

「世界に勝つ」という目標のもと10項目以上の施策を2013年から10年以上取り組んでいます。インターネット社会になり、世界の情報が瞬時に入る時代になって、野球やサッカーなどと同様に、世界の舞台で勝つことがファンの皆様に求められている。

そこで、JLPGA ツアーの選手が国内、海外でより活躍するためには、日本の環境をなるべく世界基準に近づけて、選手の持てる能力を開花させ、引き上げることが大事。もともと各選手の能力は高い。選手は個別に努力しているが、試合環境は協会が各所に働きかけて変えるしか方法がない。普段

から世界基準に近い環境でツアーが行われていれば、世界大会に行ったときに経験済みのことが増えるので、自分の力をより発揮しやすい。

協会の「ツアー強化策」の主な事例。JLPGA ツアーの場合。

- ①世界メジャーと同じ4日間大会を年間試合数の半分まで増やすこと（2023年に達成）。
- ②スタッツ（パーオン率や平均ストロークなど）を30項目までに増やして、選手の強みと弱みを数字で見える化。
- ③練習場の基準化:まちまちだった試合会場の練習環境をそろえる。
- ④コースセッティングの多様化。優勝スコアの幅（5アンダー以下から20アンダー以上）を広げ、選手の引き出しの幅を広げる。
- ⑤リランキング制度。選手の競争力を高める。シード選手の入替え変わりが例年13名以上と厳しい。
- ⑥各種規定改定など。

ステップ・アップ・ツアーの場合。

1991年から20年以上2日間競技。テレビ放映なし。ギャラリーなしの開催方式だった。ステップから選手がレギュラーツアーに行ったときにすぐに活躍できることを目標に、2012年に全大会毎日CS生放送開始。2日間から3日間競技に変更、ギャラリー入場可能に改革した。

プロはテレビや人前でベストパフォーマンスを発揮できることが大事であり、3日間大会では、予選カットがあるので、1打の重要性や1打も重みがよりプレーに反映されるようになった。2017年には世界ランキングポイントが獲得できる対象ツアーに昇格したので、選手は世界順位が付く。

これら両ツアーでの様々な「ツアー強化」策は、大会スポンサー様のご理解とご支援があつてこそ実現ができました。

現在、選手間の競争が激化し、上位層が厚くなり、日本ツアーから世界メジャー優勝者が2名誕生し、東京オリンピック銀メダル獲得など、たくさんの選手が国内と海外で大活躍し、今後もJLPGA トーナメントが成長し持続的に発展できるように引き続き取り組んでまいります。



オークション 小林会長のサイン入り



シューズ袋・ランドバック・バック日傘・傘・ゴルフボール 3 個入りのオークション代を社会福祉協議会に寄付いたしました。

発行 入間ロータリークラブ

- 事務所：〒358-0005 入間市宮前町 1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
- Email： iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
- 例会場：丸広百貨店入間店 6 Fバンケットホール Tel. 04-2963-1111
- 例会日：木曜日 12：30～13：30 ■会報委員長：細田浩司

